



# れんごうさが

No.195

2024年3月

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう  
～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～

RENGO SAGA

発行 日本労働組合総連合会・佐賀県連合会  
発行人 松尾和寿 編集者 矢ヶ部教馬

〒840-0804 佐賀市神野東4-7-3 TEL0952-33-3705 FAX0952-33-2805

## 第63回(臨時)地方委員会開催



△連合佐賀 草場会長あいさつ

連合佐賀は2月3日(土)、アバンセホールにおいて「第63回(臨時)地方委員会」を開催し、連合佐賀2024春季生活闘争方針について確認しました。

開会にあたり草場会長は、『2024春闘は、「経済」も「賃金」も「物価」も安定的に上昇する経済社会へとステージ転換をはかる正念場。全ての労働者の7割が中小、小規模事業所で働く方々であり、そこには労働組合がほとんどない。労働組合として組織化された私たちが、大手と中小の格差是正も含めた継続的な賃上げの実現をはかることこそが、労働組合の無いすべての労働者の賃金底上げにつながり、日本経済の好循環を



△【議長団】藪内勇士朗地方委員(電機連合)、長尾郁子地方委員(自治労)

創り出すきっかけとなる。今春闘では各構成組織の粘り強い交渉と、地方版政労使会議や世論喚起によって、機運を高める運動を力強く展開する。昨今、企業の不祥事が相次いでいる。労使協議においても労働組合のCSRへの積極的な関与を行い、「雇用の安定確保」、「適正な賃金や労働条件の確保」、「健全な職場環境の確保」とともに、職場で働く仲間をはじめ、様々なステークホルダーの利益を保護することが、「企業の持続的な発展」そして、「働く仲間の誇りと安心」につながるということを労使で再認識しあってもらいたい。政治について、通常国会は、「裏金国会」と揶揄されスタートした。政治資金の公開と透明

性の確保を徹底するとともに、連座制の導入も踏まえた政治資金規正法の改正を強く望むところである。来るべく衆議院選挙においては、現政権に「NO」を突き付けなければならない。そのために連合の推薦候補予定者の「小選挙区」での勝利が絶対条件となる。構成組織の継続的な活動をお願いしたい。最後に、本臨時地方委員会において、みんなで審議をし、みんなで方針決定をし、みんなで運動を展開することを確認しあい、各構成組織の労使交渉への弾みと、機運醸成につなげることを切にお願いをしたい」と代表挨拶を行いました。

議案審議では、2024春季生活闘争方針を満場一致で決定するとともに、退任役員2名の表彰を確認し、地方委員会アピールを採択し閉会しました。



△【退任役員】佐藤宏紀(自治労) 石橋麻子(電機連合)



△ガンバロー三唱

## 2024年 連合佐賀・佐賀県労福協共催 新年賀詞交歓会開催

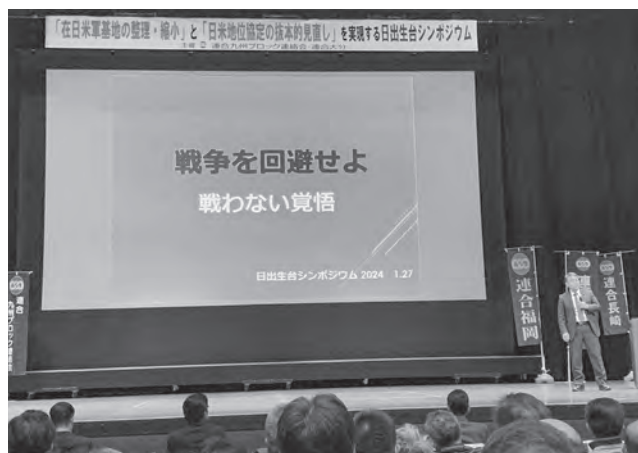


1月11日(木)、マリターレ創世にて、「新年賀詞交歓会」を開催しました。連合佐賀と佐賀県労福協は、労働団体・労働福祉事業団体としての社会的責務を自覚して、勤労者の生活・福祉の向上を目指し、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現への決意を込めて、今年度より初めての取り組みとして共催での新年賀詞交歓会を開催しました。

## 「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を実現する 日出生台シンポジウム

1月27日(土)、大分県別府市「ビーコンプラザ フィルハーモニアホール」にて、「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を実現するシンポジウムが開催されました。

連合は、「①在日米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の抜本的見直し、②核兵器廃絶と被爆者支援 ③北方領土返還と日ロ平和条約の締結」にむけた平和運動の取り組みを推進しています。このことを受けて連合九州ブロック連絡会と連合大分は、「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」の実現にむけて、1999年より「米軍による日出生台実弾射撃訓練」の実施状況を踏まえた上で、集会、シンポジウムを開催してきました。2023年度の日出生台における「沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施に係る訓練」は実施されないことから、今年度については開催形態を玖珠川河川敷での集会ではなく別府市で「シンポジウム」形態にて開催することとなり、連合佐賀から総勢40名で参加しました。





# 2024春季生活闘争の取り組み

## 九州一周キャラバン

連合九州ブロックは毎年、九州一周キャラバン行動を展開しており、九州・沖縄において世論喚起を展開しています。キャラバンカーは2月1日(木)長崎からの出発となり各県リレー方式で展開されました。連合佐賀は、2月5日(月)に南部地協で連合長崎からフラッグの受け取りを行い、その後、2月6日(火)南部地区方面、7日(水)北部地区方面、8日(木)東部地区方面を巡回し、2024春闘の世論喚起を行った後、連合福岡へフラッグを引き継ぎました。



## 全国一斉集中労働相談ホットライン

[テーマ] 「STOP雇用不安!みんなの力で職場を改善しませんか」

[実施日時] 2024年2月6日(火)～7日(水) 各日10時00分～18時00分

[相談件数] 4件

[相談内容]

1. 今の会社(施設)では、賞与(8万)と処遇改善手当(25万:2回/年)の支給があっていたが、昨年の暮れの手当の支給が突然減額された。勤務評価の内容も知らされず、上司に確認したが返事がないまま2カ月を過ぎた。他の施設では、退職者が続出している。その代替にアルバイトやシニアのパートなどで補っている状況である。  
労働組合を作るように管理職にお願いしているが前に進まない。  
本部の担当(評価のとりまとめ管理職)に聞いてもわからないとの一辺倒である。
2. 現在、パートで働いている。社会保険の加入について会社は個人の判断でいいと言っているが、賃金月額が88,000円以上とならないよう働き、主人の扶養に入っている。  
会社は、働かせないよう時間を縮小し、その穴埋めにアルバイトや派遣で対応している。不規則な勤務となり、やりづらい。また、75歳以上の勤務条件はどうなるのか。
3. 老健施設の厨房業務で、昨年4月に委託会社が変わり雇用先が変わった。  
今年に入り、給与明細に有給休暇8Hと記載されていた。それも2回。給料は減額されていないが、なぜ記載されているのか、何か影響はあるのか。
4. 福岡に勤務していた。現在は69歳で別の会社で働いている。福岡の会社では32年間勤務し、62歳で定年退職し、退職金300万円を現金でもらった。  
最近、周囲の皆さんと話して企業年金の話になり、そういう制度があるのか確認したい。前の会社では管理職だけ企業年金制度があり、保険会社と契約しているようだった。一般平社員はないのか。

## 自治体要請キャラバン行動

[日 時] 2024年2月13日(火)～26日(月)

[場 所] 10市10町、6ハローワーク、4労働基準監督署

[対 応 者] 連合佐賀四役、地協四役、連合議員懇、自治労単組役員

[行動の概要] 春季生活闘争前段取り組みの一環として毎年実施している「自治体要請キャラバン行動」を標記の通り実施しました。行動には、連合佐賀四役・各地協役員・連合議員懇、自治労単組役員が参加し、各自治体をはじめ各ハローワークならびに各労働基準監督署に以下の内容について、要請行動を展開しました。

意見交換内容	要 請 内 容
市・町 地域活性化への支援強化について ①人手不足に対する人材育成支援など ②交通のシビル・ミニマム(生活基盤最低保障基準)維持の観点から地域公共交通、先進技術の活用など	①経済・産業政策と雇用政策の一体的推進および地域活性化への支援強化 ②持続可能で安心・安全な社会資本整備の推進 ③生活困窮者自立支援体制の確立と子どもの貧困対策、生活保護の運営体制の改善・充実 ④介護サービスの安定的な提供と人材確保、介護離職の根絶 ⑤子ども・子育て支援新制度の着実な実施と保育職場の環境改善
労働基準監督署 ①中小企業への働き方改革の拡大や一部の事業・業種について適用が猶予されていた2024年4月より導入される時間外労働(残業)の上限規制について ②労働相談について	①法令違反・労働相談への対応 ②あらゆるハラスメント対策の取組み ③すべての労働者の安全・健康対策 ④人材育成と教育訓練の充実
公共職業安定所(ハローワーク) ①管轄内での求人・採用状況と、採用後の相談状況などの実態について ②県内の各層(若年・女性・高齢・障害・生活保護・氷河期・外国人)の就職支援の動向について	①生活困窮者自立支援制度の充実に向けて ②相談体制の充実・強化 ③契約後のトラブル防止に向けて ④高齢者の就労促進について ⑤障がい者の雇用の促進と雇用の安定に向けて



△伊万里市/深浦市長へ草場副会長より手交



△ハローワーク佐賀/寺島所長へ山崎副会長より手交



△唐津労基署/小林署長へ鳥巢副会長より手交



△江北町/山田町長へ近藤副会長より手交



## 「連合 アクション」街宣行動

[日 時] 2024年2月22日(木)18時00分～19時00分

[場 所] 佐賀駅南交番付近交差点・佐賀駅北口・南口付近

[参加人数] 各構成組織・青年委員会・女性委員会・事務局 約20名

2024春季生活闘争の機運醸成に向けた全国統一の取り組みとして街宣行動を実施しました。

各構成組織・青年、女性委員会の協力のもと佐賀駅南交番交差点付近で街宣行動を小雨が降り続く中行いました。

街宣行動では連合としての考えや2024春季生活闘争に全力で取り組んでいる仲間の声を代弁し世論喚起を行いました。街宣では青年委員会や女性委員会が中心となり『昨年を上回る賃上げを実現し、賃金も物価も経済も安定的に上昇していく社会を作るため、私たち連合が先頭に立って取り組みを進めていくこと』さらには『連合は、適正な価格で公正な取引の実現に向けて取り組みを進めていくこと。働きの価値に見合った適正な価格が大事だということ』などを訴えて広く世論喚起を行いました。また、街宣用のベアスポンジと政策制度のピラ(ポケットティッシュ)の配布を佐賀駅周辺で行いました。構成組織ならびに青年・女性委員会のご協力に感謝いたします。



構成組織・青年委員会・  
女性委員会街宣行動模様

## 2024春闘 中小民間労組交流集会

[開催日時] 2024年2月23日(金・祝)

[開催場所] ホテルマリターレ創世

[出席者数] 62名

[内 容] 連合佐賀フェアワークセンターは2024春季生活闘争の取り組みとして中小民間労組交流集会を開催しました。まず、フェアワークセンターの吉田委員長が主催者を代表して「2024春季生活闘争がいよいよスタートした。大手では早々に満額の回答を出した労組もあるが、中堅中小の労組はいまから要求項目を議論策定し、本格的な交渉となっていく。今集会での本部の方針や講演を単組の交渉に生かしてい



ただきたい。」と挨拶しました。

講演①として『2024春季生活闘争本部方針の概要について』と題して連合本部の奥山労働条件・中小地域対策局長から2024闘争の背景と取り組む課題について講演いただきました。

取り巻く情勢のポイントとして『①名目賃金は上昇しているものの、物価上昇に追いついていない事』『②輸入物価の上昇は峠を越えたが価格転嫁は道半ばであり、特に中小企業の価格転嫁が進んでいない状況が鮮明になっている事』『③人手不足が加速している中で、これからは一層、多様な人材が働きやすい環境を整備することが企業に求められている事。』を報告され、このような状況の中、連合は『①慢性デフレからの脱却として、賃金と物価が持続的かつ緩やかに上昇する健全なサイクルへステージを転換する』『②働くことを軸とする安心社会に向け、格差是正と分配構造へ転換する』『③みんなの春闘を展開し、集団的労使関係を広げていこう』と本部方針を提起されました。



講演②として『そのモヤモヤを、明日のワクワクに。佐賀県産業DX・スタートアップ推進グループの取組紹介』と題して佐賀県産業労働部の北村和人総括監より講演いただきました。

まずは産業DX・スタートアップ推進グループの紹介として、全国初で2018年にスマート化センターを開設した事、人材の育成を大規模で行っている事などの紹介をされたのち、県内での事例紹介がありました。色々な取り組み報告を受け、推進グループからのメッセージとして『カネより知恵と意欲・努力』『同じことは二度とやらない』『できるところからスモールスタート』『情報はオープンに、俯瞰して自ら考えさせる』『やっぴいという後ろ盾、大事』『他人の目に晒す事で、非常識を払拭』とのメッセージを頂き講演を締めくくられました。また参加者との意見交換を実施し、大変有意義な講演となりました。

講演③は事業体からの提案として九州労金佐賀県本部、米森さまから労働金庫の取組である「しあわせ創造運動」の概要と資産運用を行う事の大切さを説明いただいた。またこくみん共済coopの小野さまからの説明では能登半島地震が発生したことから熊本地震の例を挙げて、自然災害に対する備えが今後も重要になってきていると説明いただきました。

集会后は懇親交流会を開催し、参加者相互での意見交換を行いました。

## 2024春季生活闘争 3.2佐賀県中央総決起集会

[日時] 2024年3月2日(土)10:00~12:00

[場所] (集会)佐賀市役所前南公園(パレード)市役所前南公園~佐賀中央郵便局

[参加] 各産別、各地域協、連合佐賀 計907人

[内容]

連合佐賀は3月2日(土)10時より2024春季生活闘争3.2佐賀県中央総決起集会を開催しました。当日は寒さが厳しい中多くの組合員の皆さんに参加いただきました。

冒頭、草場会長は『2024春闘は、「経済」も「賃金」も「物価」も安定的に上昇する経済社会へと、ステージ転換をはかる正念場である。強い意思と行動力をもって実現していこう。日本は先進国ではなく衰退国となっていると言っても過言ではない。物価高を上回る賃上げを継続的に実現しなければ、世界において存在感の無い日本になっていく。昨年は30年ぶりの高水準で全体の賃上げ率は高まったものの、中小企業の賃上げ率は相対的に低位にとどまるという結果となった。これは中小企業ほど人手不足が深刻である一方、適正な価格転嫁が遅れ企業収益を圧迫している証拠。労働組合として組織化された私たちが、大手と中小の格差是正も含めた継続的な賃上げの実現をはかることこそが、労働組合の無いすべての労働者の賃金底上げにつながり、日本経済の好循環を創り出すきっかけへと繋がっていく。連合佐賀と構成組織が一致結束をし、最後まで粘り強く運動を展開していこう。最後の最後まで共に頑張りましょう。』と力強く挨拶しました。



その後、松尾事務局長より連合佐賀の取り組みとして情勢報告を行ったのち、青年委員会の江川青年委員長の集会アピール採択が提案され、最後に吉田副会長の力強い団結ガンパロー三唱で集会を終了しました。

また5年ぶりとなるパレードを行い、市役所前南公園～佐賀中央郵便局まで社会的アピールも含め春闘の機運醸成を行いました。参加いただいた構成組織ならびにスタッフとして設営に協力いただいた青年・女性委員会の幹事の皆様ありがとうございました。



△草場会長挨拶



△松尾事務局長情勢報告



△江川青年委員長アピール採択



△集会の様子



△吉田副会長によるガンパロー三唱



△参加者によるパレード風景

## 連合佐賀議員懇談会「第27回定期総会」



連合佐賀議員懇談会は、2月13日(火)四季彩ホテル千代田館において「第27回定期総会」を開催し、2023年度活動経過報告および2024年度活動方針ならびに新役員など、全5議案について満場一致で確認し、承認されました。役員には徳光清孝会長(県議)ほか11名の再任が確認されました。

その後、県政報告とレセプションを行い、閉会しました。

## 佐賀県内メーカー開催日程

地協	地域/地区	日時	場所
東部	鳥栖・三養基	4月27日(土) 9時30分	鳥栖市民文化会館
	佐賀県中央、佐賀	4月27日(土) 10時00分	どんどんどの森
北部	有田	4月26日(金) 18時00分	有田町生涯学習センター
	唐津・東松浦・伊万里	4月27日(土) 10時30分	唐津市文化体育館
南部	武雄・杵島・多久・小城・鹿島・藤津	4月27日(土) 10時00分	武雄市文化会館



### 編集後記

2024春季生活闘争では先行組合からの回答が出始めている。満額回答や組合の要求以上の回答も出てきており、今後の中堅中小地場組合に勢いをつけるような春闘となっている。今後は組合がない職場にも波及していき、すべての労働者の生活向上につながっていく事を強く願う。連合佐賀としても価格転嫁の協定締結や地方版政労使会議など広く世間に賃上げの流れが波及していくよう取り組みを推進していきたい。

「みんなで賃上げ。ステージを変えよう！」を合言葉に！ ともに頑張りよう！（K・Y）